st 設問1.主な業種を 1 つ選択してください。	
○ 1. 農林水産業	11. 卸売業
○ 2. 漁業	○ 12. 小売業
○ 3. 鉱業	○ 13. 金融業
○ 4. 建設業	14. 不動産業
○ 5. 製造業 (食品・飲料)	○ 15. 学術研究・専門サービス業
○ 6. 製造業 (食品・飲料以外)	○ 16. サービス業
○ 7. 電気ガス・水道業	17. 教育・学習支援業
○ 8. 情報通信業	○ 18. 医療・福祉業
○ 9. 運輸・郵便業 (海上職)	○ 19. 公務
○ 10. 運輸・郵便業 (海上職以外)	
○ 20.その他 (具体的に)	

	が不明な場合は「不明	17 C = ULV (\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	<i>د</i> ۰.	
学新卒採用実績				
(計 名)				
学出身者の採用実績 (計 名)				
(a) 41)				

	用者の離職者			
(計	名)			
	の離職者数			
デロス i (計				

期待と現実の乖離		
学生の企業・業界に関する情報や	理解度の不足	
企業からの学生への情報提供不足	:	
企業が求めるスキルと学生が求め	るスキルの乖離	
その他(その他を選択された場合	、具体的にご記入ください。)	

	にお進みください)。
期待と現実の乖離	
] 学生の企業・業界	に関する情報や理解度の不足の基準提供不足
_	・ルと学生が求めるスキルの乖離
•	選択された場合、ご意見等がありましたら、ご記入ください。)
CONE (CONES	ADVC10に初日、こまがずがありましたり、こEDX(YECV)。

1/x-/:	シップの実施			
研修・教育の	の充実			
会社説明会で	で、業務内容、労働な	環境等について詳細	明に説明	
採用選考中に	こ社員との懇談会等の	の交流		
] その他 (その	の他を選択された場合	合、具体的にご記 <i>)</i>	(ください。)	

設問6-1. <u>理系の大卒者</u>に備えてほしい能力の重要度について評価をお願いします。以下の諸項目について 5段階評価でお願いします。

	1:重要度が低い	2:やや重要	3:重要	4:きわめて重要	5:最も重要
1.主体性:物事に進ん で取り組む力			\bigcirc		
2.働きかけ力:他人に 働きかけ巻き込む力	\bigcirc				
3.実行力:目的を設定 し確実に行動する力					
4.課題発見力:現状を 分析し目標や課題を明 らかにする力				\bigcirc	\bigcirc
5.計画力:課題の解決 に向けたプロセスを明 らかにし準備する力		\bigcirc	\bigcirc	\circ	\bigcirc
6.創造力:新しい価値 を生み出す力	\bigcirc		\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc
7.発信力:自分の意見 をわかりやすく伝える 力		\bigcirc	\circ	\circ	\bigcirc
8.傾聴力:相手の意見 を丁寧に聴く力	\bigcirc		\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc
9.柔軟力:意見の違い や立場の違いを理解す る力				\bigcirc	\bigcirc
10.専門性 : 大学で学 んだ専門知識を活かす 力		\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc
11.情報把握力:自分 と周囲の人々や物事と の関係性を理解する力		\bigcirc	\circ	\circ	\bigcirc
12.規律性 : 社会のル ールや人との約束を守 る力	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc
13.ストレスコントロールカ:ストレスの発生源に対応するカ	\circ	\circ	\circ	\circ	\bigcirc
その他 (上記13項目に当て	てはまらないものはそ	一の他に具体的にご記	已入ください。)		

* 設問6-2. 本学の出身者に備えてほしい能力の重要度について評価をお願いします。以下の諸項目について 5 段階評価でお願いします。

	1.重要度が低い	2.やや重要	3.重要	4.きわめて重要	5.最も重要
1.主体性:物事に進ん で取り組む力			\bigcirc		\bigcirc
2.働きかけ力:他人に 働きかけ巻き込む力	\bigcirc		\bigcirc		\bigcirc
3.実行力:目的を設定 し確実に行動する力					
4.課題発見力:現状を 分析し目標や課題を明 らかにする力		\bigcirc		\bigcirc	\bigcirc
5.計画力:課題の解決 に向けたプロセスを明 らかにし準備する力		\bigcirc		\bigcirc	\bigcirc
6.創造力:新しい価値 を生み出す力	\bigcirc		\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc
7.発信力:自分の意見 をわかりやすく伝える 力	\circ	\circ	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc
8.傾聴力:相手の意見 を丁寧に聴く力	\bigcirc		\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc
9.柔軟力:意見の違い や立場の違いを理解す る力	\bigcirc			\bigcirc	\bigcirc
10.専門性 : 大学で学 んだ専門知識を活かす カ		\bigcirc		\bigcirc	\bigcirc
11.情報把握力:自分 と周囲の人々や物事と の関係性を理解する力		\bigcirc		\bigcirc	\bigcirc
12.規律性:社会のル ールや人との約束を守 る力		\bigcirc		\bigcirc	\bigcirc
13.ストレスコントロールカ:ストレスの発生源に対応するカ				\bigcirc	
その他 (上記13項目に当て	てはまらないものはそ	の他に具体的にご記	2入ください。)		

設問6-3. 貴社が採用されている理系の大卒新卒者全般の能力についてそれぞれ評価をしてください。

	1.非常に劣ってい る	2.劣っている	3.普通	4.優れている	5.非常に優れてい る
1.主体性					
2.働きかけ力					
3.実行力					
4.課題発見力					
5.計画力					
6.創造力					
7.発信力					
8.傾聴力					
9.柔軟力					
10.専門性					
11.情報把握力					
12.規律性					
13.ストレスコントロ ールカ					
その他 (上記13項目に当	てはまらないものはそ	の他に具体的にご記	上入ください。)		

その他 (上記13項目に当てはまらないものはその他に具体的にご記入くだ	さい。)

ショニューション ション・ション ション ション ション ション ション ション ション ション ション	告針が採用されてい	、ス本学の新卒者の能力につい	いてそれぞれ評価をしてください。
7 TO TO THE	目付が休用さんし	いる本子(/)刺牛有(/)腹刀に ハ	ハしてんてんぼ台間をしてく にさいこ

	1.非常に劣ってい る	2.劣っている	3.普通	4.優れている	5.非常に優れてい る
1.主体性					
2.働きかけ力					
3.実行力					
4.課題発見力					
5.計画力					
6.創造力					
7.発信力					
8.傾聴力					
9.柔軟力					
10.専門性					
11.情報把握力					
12.規律性					
13.ストレスコントロ ール力					
その他 (上記13項目に当	てはまらないものはそ	の他に具体的にご記	人ください。)		

その他 (上記13項目に当てはまらないものはその他に具体的にご記入くだ	さい。)

設問7-1 . 本学、	海洋生命	計科学部と海洋資源環境科学部はJABEE認定を受けている技術者教育プログラムです。この2学科の
卒業生は技術士	一次試験を	を免除されており、技術士補として登録できます。貴社において技術士補もしくは技術士として勤務
されている方の人	人数をおす	教え下さい。無い場合は「 $oldsymbol{0}$ 」、人数が不明な場合は「不明」とご記入ください。
技術士:計	名	

技術士:計 名	
技術士のうち本学出身 者:計 名	
技術士補:計 名	
技術士補のうち本学出身 者:計 名	

- * 設問7-2. 貴社において,技術士補もしくは技術士の資格を持つ従業員を増やしたいとお考えでしょうか。
- **○** 1.ぱい
- 2.いいえ

東京海洋大学企業調査2025
設問7-3.設問7-2で「1.はい」 を選んだ方は具体的な理由を入力してください 。 (30文字以内)

設問8. 大学院での学びなおし機会も含めた「リカレント教育」が従業員満足度の向上や人材流出防止、生産性向上に資するとして企業人事制度の1つとして注目されています。貴社でのリカレント教育への取り組みや、従業員からの要望はありますか。				
* 設問8-1-1 . 従業員から	の要望について			
	1.従業員からの要望は	無い 2.従業員から	の要望がある	3.既に従業員が準備中/在学中
従業員からの要望				
* 設問8-1-2. 貴社の取り	り組みについて			
	1.現時点で関心は無い	2.関心はあるが制度は 無い	3.制度の運用や倉 準備中	削設を 4.制度として準備済み
貴社の取り組み				

* 設問 $8-2$. 本学では「海洋産業 AI プロフェッショナル育成卓越大学院プログラム」を推進するなど、奨学金制度の充実も含
めて、大学院教育の強化をはかりながら、よりよいリカレント教育、すなわち「学び直し」の機会提供につとめています。貴
社の従業員が本学の大学院で学ぶ社会人として入学する機会を設けることに興味・関心がありますか。
○ 1.ある

◯ 1.ある			
2.ない			

就業規則等で大学院等への就学を理由とした休暇や	就業規則等で大学院等への就学を理由とした休暇や	(本業規則等で大学院等への就学を理由とした休暇や 機を認めていない	6.業務内容に則した研究でないといけない/貴族を認めていない	業規則等で大学院等への就学を理由とした休暇や 6.業務内容に則した研究でないといけない/責務内容とは分野が違う 7.人員不足により在職しながら大学院への就学の確保が難しい 8.貴社の業務で活かせる知識を大学院で学べるらない の他(具体的に) 2. 貴社において大学院のリカレント教育に対する期待について、あてはまるものをお答えください。 い専門知識と、課題発見・解決能力などの汎用的 3.社外の組織等と連携・協力した業務運営能力できる 6.の技術変化に対応する能力を向上できる 4.国際的な研究開発活動に対応する能力を向上	業規則等で大学院等への就学を理由とした休暇や 6.業務内容に則した研究でないといけない/ 務内容とは分野が違う 7.人員不足により在職しながら大学院への就にの確保が難しい 8.貴社の業務で活かせる知識を大学院で学へらない の他(具体的に) 3.社外の組織等と連携・協力した業務運営能できる できる 後の技術変化に対応する能力を向上できる 4.国際的な研究開発活動に対応する能力を向上できる	可) 1.就業規則等で大学院等への入学を禁止している	5.勤務地の関係で通学させられない
間の確保が難しい 出張や転勤がある	間の確保が難しい 出張や転勤がある	い 8.貴社の業務で活かせる知識を大学院で学べるらない 8.貴社の業務で活かせる知識を大学院で学べるらない 1-2. 貴社において大学院のリカレント教育に対する期待について、あてはまるものをお答えください。 (日の確保が難しい	の確保が難しい	の確保が難しい い 張や転勤がある 8.貴社の業務で活かせる知識を大学院で学べらない の他 (具体的に) らない ・2. 貴社において大学院のリカレント教育に対する期待について、あてはまるものをお答えください。 い専門知識と、課題発見・解決能力などの汎用的を向上できる 3.社外の組織等と連携・協力した業務運営能できる 後の技術変化に対応する能力を向上できる 4.国際的な研究開発活動に対応する能力を向上を向上できる	2.就業規則等で大学院等への就学を理由とした休暇や休職を認めていない	── 6.業務内容に則した研究でないといけない/貴
らない 4-2. 貴社において大学院のリカレント教育に対する期待について、あてはまるものをお答えください。 深い専門知識と、課題発見・解決能力などの汎用的	らない 4-2. 貴社において大学院のリカレント教育に対する期待について、あてはまるものをお答えください。 深い専門知識と、課題発見・解決能力などの汎用的	らない その他(具体的に) -2. 貴社において大学院のリカレント教育に対する期待について、あてはまるものをお答えください。(よい専門知識と、課題発見・解決能力などの汎用的 「 3.社外の組織等と連携・協力した業務運営能力できる できる できる ・後の技術変化に対応する能力を向上できる	らない 1-2. 貴社において大学院のリカレント教育に対する期待について、あてはまるものをお答えください。(深い専門知識と、課題発見・解決能力などの汎用的 力を向上できる 今後の技術変化に対応する能力を向上できる 4.国際的な研究開発活動に対応する能力を向上	の他 (具体的に) 2 . 貴社において大学院のリカレント教育に対する期待について、あてはまるものをお答えください。 い専門知識と、課題発見・解決能力などの汎用的 を向上できる 後の技術変化に対応する能力を向上できる 3.社外の組織等と連携・協力した業務運営能力できる (4.国際的な研究開発活動に対応する能力を向上	の他 (具体的に) -2. 貴社において大学院のリカレント教育に対する期待について、あてはまるものをお答えください。 い専門知識と、課題発見・解決能力などの汎用的	3.就業時間が決まっており、授業・研究活動に費やす 時間の確保が難しい	
4-2. 貴社において大学院のリカレント教育に対する期待について、あてはまるものをお答えください。 深い専門知識と、課題発見・解決能力などの汎用的 3.社外の組織等と連携・協力した業務運営能力力を向上できる できる できる (4.国際的な研究開発活動に対応する能力を向上	4-2. 貴社において大学院のリカレント教育に対する期待について、あてはまるものをお答えください。 深い専門知識と、課題発見・解決能力などの汎用的 3.社外の組織等と連携・協力した業務運営能力力を向上できる できる できる 4.国際的な研究開発活動に対応する能力を向上	4-2. 貴社において大学院のリカレント教育に対する期待について、あてはまるものをお答えください。(深い専門知識と、課題発見・解決能力などの汎用的 3.社外の組織等と連携・協力した業務運営能力 できる できる できる 4.国際的な研究開発活動に対応する能力を向上	1-2. 貴社において大学院のリカレント教育に対する期待について、あてはまるものをお答えください。 (深い専門知識と、課題発見・解決能力などの汎用的 3.社外の組織等と連携・協力した業務運営能力 できる できる (4.国際的な研究開発活動に対応する能力を向上	2. 貴社において大学院のリカレント教育に対する期待について、あてはまるものをお答えください。 い専門知識と、課題発見・解決能力などの汎用的	-2. 貴社において大学院のリカレント教育に対する期待について、あてはまるものをお答えください。 い専門知識と、課題発見・解決能力などの汎用的 3.社外の組織等と連携・協力した業務運営能 を向上できる できる なの技術変化に対応する能力を向上できる 4.国際的な研究開発活動に対応する能力を向	4.出張や転勤がある	
深い専門知識と、課題発見・解決能力などの汎用的 3.社外の組織等と連携・協力した業務運営能力力を向上できる できる できる 4.国際的な研究開発活動に対応する能力を向上	深い専門知識と、課題発見・解決能力などの汎用的 3.社外の組織等と連携・協力した業務運営能力力を向上できる できる できる 4.国際的な研究開発活動に対応する能力を向上	Rい専門知識と、課題発見・解決能力などの汎用的 3.社外の組織等と連携・協力した業務運営能力できる できる できる 4.国際的な研究開発活動に対応する能力を向上	深い専門知識と、課題発見・解決能力などの汎用的 3.社外の組織等と連携・協力した業務運営能力 力を向上できる できる できる 4.国際的な研究開発活動に対応する能力を向上	い専門知識と、課題発見・解決能力などの汎用的 3.社外の組織等と連携・協力した業務運営能力を向上できる できる できる 4.国際的な研究開発活動に対応する能力を向上	い専門知識と、課題発見・解決能力などの汎用的 3.社外の組織等と連携・協力した業務運営能 を向上できる できる ひろうながでする能力を向上できる 4.国際的な研究開発活動に対応する能力を向上	9.その他 (具体的に)	
深い専門知識と、課題発見・解決能力などの汎用的 3.社外の組織等と連携・協力した業務運営能力力を向上できる できる できる 4.国際的な研究開発活動に対応する能力を向上	深い専門知識と、課題発見・解決能力などの汎用的 3.社外の組織等と連携・協力した業務運営能力力を向上できる できる できる 4.国際的な研究開発活動に対応する能力を向上	Rい専門知識と、課題発見・解決能力などの汎用的 3.社外の組織等と連携・協力した業務運営能力できる できる できる 4.国際的な研究開発活動に対応する能力を向上	深い専門知識と、課題発見・解決能力などの汎用的 3.社外の組織等と連携・協力した業務運営能力 力を向上できる できる できる 4.国際的な研究開発活動に対応する能力を向上	い専門知識と、課題発見・解決能力などの汎用的 3.社外の組織等と連携・協力した業務運営能力を向上できる できる できる 4.国際的な研究開発活動に対応する能力を向上	い専門知識と、課題発見・解決能力などの汎用的 3.社外の組織等と連携・協力した業務運営能 を向上できる できる 後の技術変化に対応する能力を向上できる 4.国際的な研究開発活動に対応する能力を向		
深い専門知識と、課題発見・解決能力などの汎用的 3.社外の組織等と連携・協力した業務運営能力力を向上できる できる できる 4.国際的な研究開発活動に対応する能力を向上	深い専門知識と、課題発見・解決能力などの汎用的 3.社外の組織等と連携・協力した業務運営能力力を向上できる できる できる 4.国際的な研究開発活動に対応する能力を向上	Rい専門知識と、課題発見・解決能力などの汎用的 3.社外の組織等と連携・協力した業務運営能力できる できる できる 4.国際的な研究開発活動に対応する能力を向上	深い専門知識と、課題発見・解決能力などの汎用的 3.社外の組織等と連携・協力した業務運営能力 力を向上できる できる できる 4.国際的な研究開発活動に対応する能力を向上	い専門知識と、課題発見・解決能力などの汎用的 3.社外の組織等と連携・協力した業務運営能力を向上できる できる できる 4.国際的な研究開発活動に対応する能力を向上	い専門知識と、課題発見・解決能力などの汎用的 3.社外の組織等と連携・協力した業務運営能 を向上できる できる 後の技術変化に対応する能力を向上できる 4.国際的な研究開発活動に対応する能力を向		
力を向上できる できる 今後の技術変化に対応する能力を向上できる	力を向上できる できる 今後の技術変化に対応する能力を向上できる	つを向上できる できる できる (本の技術変化に対応する能力を向上できる (本の技術変化に対応する能力を向上できる (本の技術変化に対応する能力を向上) 4.国際的な研究開発活動に対応する能力を向上	かを向上できる できる できる できる (本) できる (本) できる (本) できる (本) できる (本) できる (本)	を向上できる できる できる 後の技術変化に対応する能力を向上できる	を向上できる できる できる	8-4-2. 貴社において大学院のリカレント教育に対する	5期待について、あてはまるものをお答えください。(
力を向上できる できる 今後の技術変化に対応する能力を向上できる	力を向上できる できる 今後の技術変化に対応する能力を向上できる	つを向上できる できる できる (本の技術変化に対応する能力を向上できる (本の技術変化に対応する能力を向上できる (本の技術変化に対応する能力を向上の) 4.国際的な研究開発活動に対応する能力を向上	かを向上できる できる できる できる (本) できる	を向上できる できる できる 後の技術変化に対応する能力を向上できる	を向上できる できる できる		0.11 to 20 (0.665) ** the left of 1.1 1 1 1 1 26 P. 2566 L.
						1.深い専門知識と、課題発見・解決能力などの汎用的 能力を向上できる	
その他 (具体的に)	その他 (具体的に)	上 での他 (具体的に)	たの他 (具体的に)	つ他 (具体的に)	の他 (具体的に)	2.今後の技術変化に対応する能力を向上できる	4.国際的な研究開発活動に対応する能力を向上
CONSTRUCTION OF THE PROPERTY O		(VIIII) (XTIPLE)				5. その他 (目体的に)	

設問9-1. 本学では国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) が実施する「次世代研究者挑戦的研究プログラム」 (SPRING) に基づき,「創発的海洋研究・産業人材育成支援プロジェクト」を推進し、本学博士後期課程学生に対して、研究奨励費及び研究費の支給及び必要な支援プログラム等により、社会課題の解決に資する研究を担う博士人材の育成につとめています。貴社において博士号の学位を有する従業員の方の人数をお教え下さい。無い場合は「0」、人数が不明な場合は「不明」とご記入ください。

博士号の学位を有する従 業員:計 名	
うち本学出身者: 計 名	

* 設問9-2. 貴社において博士号を有する者を採用する際に何らかの制約がありますか。

- () 1.ある
- () 2.ない

段問9-3-1.貴社における博士人材に対する懸念について、あ	
1.貴社の業務において、博士人材を採用するニーズがない	5.博士後期課程に在籍している学生は企業で勤務する ことに関する事前知識が不足している
2.貴社の業務内容と博士人材の専門性とのマッチングが難しい	6.博士後期課程に在籍している学生が在学中から企業 等との接点を持てる機会が不足している
3.貴社において博士人材の採用経験がなく、採用や処 遇に関する制度等が整備されていない	7.博士後期課程を設置している大学からの博士人材に 関する情報発信が不足している
■ 4.貴社において博士号を有している従業員は勤務しているが,貴社における博士人材の活躍状況が十分に発信できおらず、博士学生が貴社でのキャリアを描きづらい	■ 8.貴社のインターンシップへ博士後期課程の学生を参加させるのが難しい
9.その他 (具体的に)	
設問9-3-2.貴社における博士人材に対する懸念と期待につい	いて、あてはまるものをお答えください。 (複数選択可)
設問9-3-2. 貴社における博士人材に対する懸念と期待についる 1.深い専門知識と、課題発見・解決能力などの汎用的能力を有している	_
1.深い専門知識と、課題発見・解決能力などの汎用的	3.社外の組織等と連携・協力し、成果を上げることが
1.深い専門知識と、課題発見・解決能力などの汎用的能力を有している	3.社外の組織等と連携・協力し,成果を上げることが 期待できる
1.深い専門知識と、課題発見・解決能力などの汎用的能力を有している 2.今後の技術変化に対応する能力が高い	3.社外の組織等と連携・協力し,成果を上げることが 期待できる
1.深い専門知識と、課題発見・解決能力などの汎用的能力を有している 2.今後の技術変化に対応する能力が高い	3.社外の組織等と連携・協力し,成果を上げることが 期待できる
1.深い専門知識と、課題発見・解決能力などの汎用的能力を有している 2.今後の技術変化に対応する能力が高い	3.社外の組織等と連携・協力し,成果を上げることが 期待できる

東京海洋大学企業調査2025	
設問10. 本学へのご意見ご要望等があれば、自由にお書きください。	
政内10. 中子へのこ思兄こ女主守かめれは、日田にお香さください。	